

事業名	農業競争力強化農地整備事業 (農地耕作条件改善事業)	事業概要	全体計画	①総事業費 1,050,410千円 ②事業目的 ほ場を大区画化し、利用集積を図る ③事業内容 区画整理 38.4ha ④事業期間 平成29年度～令和7年度			
地区名	上宇川地区(京丹後市丹後町)		4年度までの実績	①事業費 772,643千円 ②事業内容 区画整理 30.4ha			
事業主体	京都府		5年度計画(4年度補正を含む)	①事業費 100,000千円 ②事業内容 区画整理 4.6ha			
現況等	1区画が10aと狭小であること、暗渠排水が未整備であること、道路幅の狭さ等が生産性の向上を妨げている。		負担割合	国:55%, 府:27.5%, 市町村:10%, その他:7.5%			
事業効果	ほ場の大区画化や排水条件の整備により大型機械導入が可能となる。農地の汎用化による多様な作物の栽培を可能にし、法人の経営安定化を図る。		年度区分	年度	R4当初まで	R4補正	R5
コスト削減	・頭首工、道水路、河川放流施設等の既設施設を積極的に活用する。 ・現地発生土や他事業から発生する建設発生土を客土等に有効活用する。	事業費(千円)	772,643	80,000	20,000	177,767	
環境・景観への配慮	・排水路をできる限り現況水路と同じ位置に配置したり、水路底の一部をライニングしない。 ・ほ場、水路、河川を生物が往来できる環境を維持するように努める。						

【概要図】



凡 例	
	令和3年度以前
	令和4年度
	令和5年度
	令和6年度以降

区画形状
現況0.1ha→計画0.3~0.8ha



整備前



整備後